



四中だより

令和8年(2026年)
4月13日(月)
豊中市立第四中学校

4月8日、2026年度が始まりました。

始業式で話した内容を改めて文字に起こしておきます。
新しい生活を迎えたみなさんに、この春にいちばん伝えたいことを話しました。

昨日、無事に入学式が終わりました。
新たに217名の4中生を迎えることができました。
2年生は教室周辺の清掃や、黒板アートや飾りつけを
3年生は、会場の準備、周辺清掃、そして片付けを本当にありがとうございました。
何かをするにあたっては、その前と後ろには、必ず準備と後片付けがあって、誰かが
それをしてくれているということをお忘れずにいましょう。
改めて、2、3年生のすべての係の皆さんありがとうございました。

さて、あの寒かった冬が終わり、新しい春がやってきました。
今日から2026年度が始まります。
今日は新しく来られた先生の紹介をしましたが、明日は4中を去られた先生の離任式を
行います。今年もたくさんの先生が4中を去られて、またいらっしゃいました。
春は、別れと出会いの季節です。そして新しいスタートの季節です。

みなさんは今どんな気持ちですか？
クラス分けの表を見るまではワクワク、ドキドキしていたけど、
メンバーを見て急に不安になってたりはしていませんか。
新しい環境の中、不安なのはみんな同じです。
長いこと生きている私にとっても、春は憂鬱です。

憂鬱という漢字がわかりますか？
鬱という字は、鬱陶しい(うっとうしい)の鬱(うつ)です。
29画も画数がある、どう書いたらいいのかわからない漢字です。

憂という字は、訓読みで「憂い」(うれい)と読みます。
憂いとは「つらい気持ち」、「心が重い状態」のことを言います。
その憂という字に、にんべんが付くと優しいという字に変わります。

他人の、隣の人の、つらい気持ち、心が重い状態がわかることが、
「優しい」ことなのだそうです。

みなさんは一人一人違うから
環境の変化をあまり気にしない人もいるでしょうし、中には、
少しの変化にも不安で押しつぶされそうに感じてしまう人もいます。

でも、4月です。新しい春です。
中学生になった人、学年が一つ上がった人、
新しい環境で、頑張ろう、変わろうという気持ちを持っている人が
ここにたくさんいます。

初めから飛ばしすぎる必要はない。
変わろう、変えようと、頑張ろうとしている人の、
そういう気持ちを、お互いに「優しい」気持ちで応援してほしい。

あの子、あいつ、
1年生の時とはとか、2年生の時とはとか、小学校の時とはとか、なんて
「前」のことを言うのを、言いたくなるのを、しばらくやめませんか？

つい癖で言ってしまうてる子がいたら、
「校長が言ってたやん」といってやんわりと止めませんか。

君たち若者は、出会いや出来事で、日々変わっていきます。
昔のことより「前」を、「未来」に向かって、進んでください。

初めから飛ばしすぎる必要はない。
人からの評価というのは、
毎日の積み重ねの「信頼」から生まれてくるものです。
だから、初めから飛ばしすぎる必要はない。

とにかく、自分から挨拶をしましょう。
挨拶されたら、気持ちよく挨拶を返しましょう。
そこから全てが始まります。

優しい気持ちの化学変化で、いいクラス、いい学年、
そして「心温まる四中」を一緒に作っていきましょう。

誰かが作ってくれるんじゃない。
自分で、自分たちで、環境を育てていくんだ。
以上で、始業式の話が終わります。



各学年の4月の主な行事

- 全学年： 始業式・着任式・対面式（8日）・離任式（9日）
クラス写真撮影（9日）・給食開始（10日）
生徒会専門委員会（14日）
家庭訪問（20日・21日・28日・30日・5月1日）
クラブミーティング（22日）・SNS教室（24日）
創立記念日（27日）
- 1年生： 入学式（7日）・着こなしセミナー（13日）・クラブ紹介（13日）
- 3年生： 全国学テ（21日・23日・5月8日）